

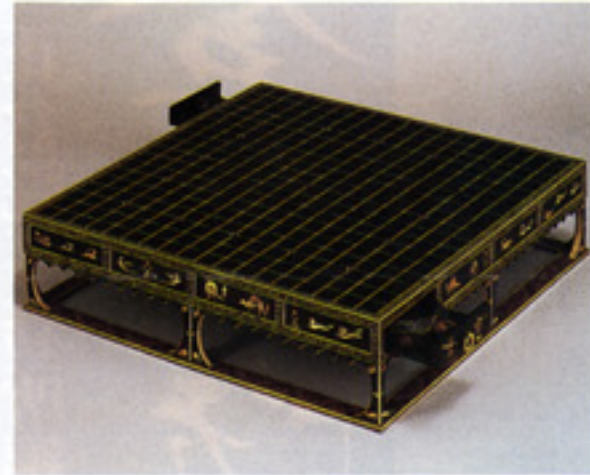
正倉院宝物の全容を初公開。いま「世界の宝庫」の扉が開く!

北倉

HOKUSO
聖武天皇の御遺愛品を中心に、宮廷用度品などの数々を収蔵



北倉44 鳥毛立女屏風



北倉36 木面紫檀基局



本書の特色

◆正倉院宝物の全容を明かす唯一の全集
「勅封倉」として1200余年の星霜を超えて、守り伝えられた奈良・正倉院の宝物。現在までに整理・分類された収蔵品を多数の初公開を含め網羅します。年に一度奈良国立博物館で開催される一般公開でも、その一部しか見ることのできなかった宝物を、すべて居ながらにして鑑賞できるのは本全集だけです。

◆各倉別、整理順に収載した画期的編集
宝物を収蔵する北倉・中倉・南倉を、それぞれ独立させた巻立てで構成、整理順に、全宝物「色刷り(モノクロ)」で収載します。さらに、その中から優品を厳選してカラーで収載、大胆な部分写真も多用します。また、宝物の中核「東大寺献物帳」(国家珍宝帳、種々葉帳、屏風花紙等帳、大小王真跡帳、藤原公真跡屏風帳、及び聖武天皇御書「雑集」、光明皇后御書「村家立成」(楽毅論)などは、全図を原寸大カラーで収載します。

◆総図版数約一万点の壮大なスケール
図版は一巻あたり、カラーは平均で二〇点、モノクロは四〇〇―一〇〇〇点、全10巻約一万点の図版で、膨大な正倉院宝物の全容を浮き彫りにします。

◆最新のデータ、資料性に富む内容
正倉院の全容が理解できるように、簡潔な解説に加え、法量、材質・技法は最新のデータを載せ、宝物名にはふりがなと英文を付すとともに、銘文を収載、専門性・資料性にも富んだ内容とします。

◆宮内庁正倉院事務所が全面協力
本全集は、毎日新聞社が宮内庁正倉院事務所の全面的協力をいただき実現したものです。

◆実物に迫る格調高い図版と重厚な造本
図版は、最新の技術を駆使して「世界の宝庫」の再現に迫ります。また、歴史的遺産を愛蔵するにふさわしい、美麗で堅牢な装丁・造本とします。

東大寺大仏殿の北北西に位置する、校倉で有名な正倉院宝庫。ここに納められた聖武天皇の御遺愛品を含む膨大な量の什宝類が、正倉院宝物と呼ばれる貴重な文化遺産であり、現在は勅封倉の西室で近代的な設備と良好な環境のもとに保存されている。歴史・技法も富み多岐にわたる宝物も少なくなく、正倉院に唯一保存される宝物も多いことから「世界の宝庫」とも言われている。今回、その全容を初めて公開する。



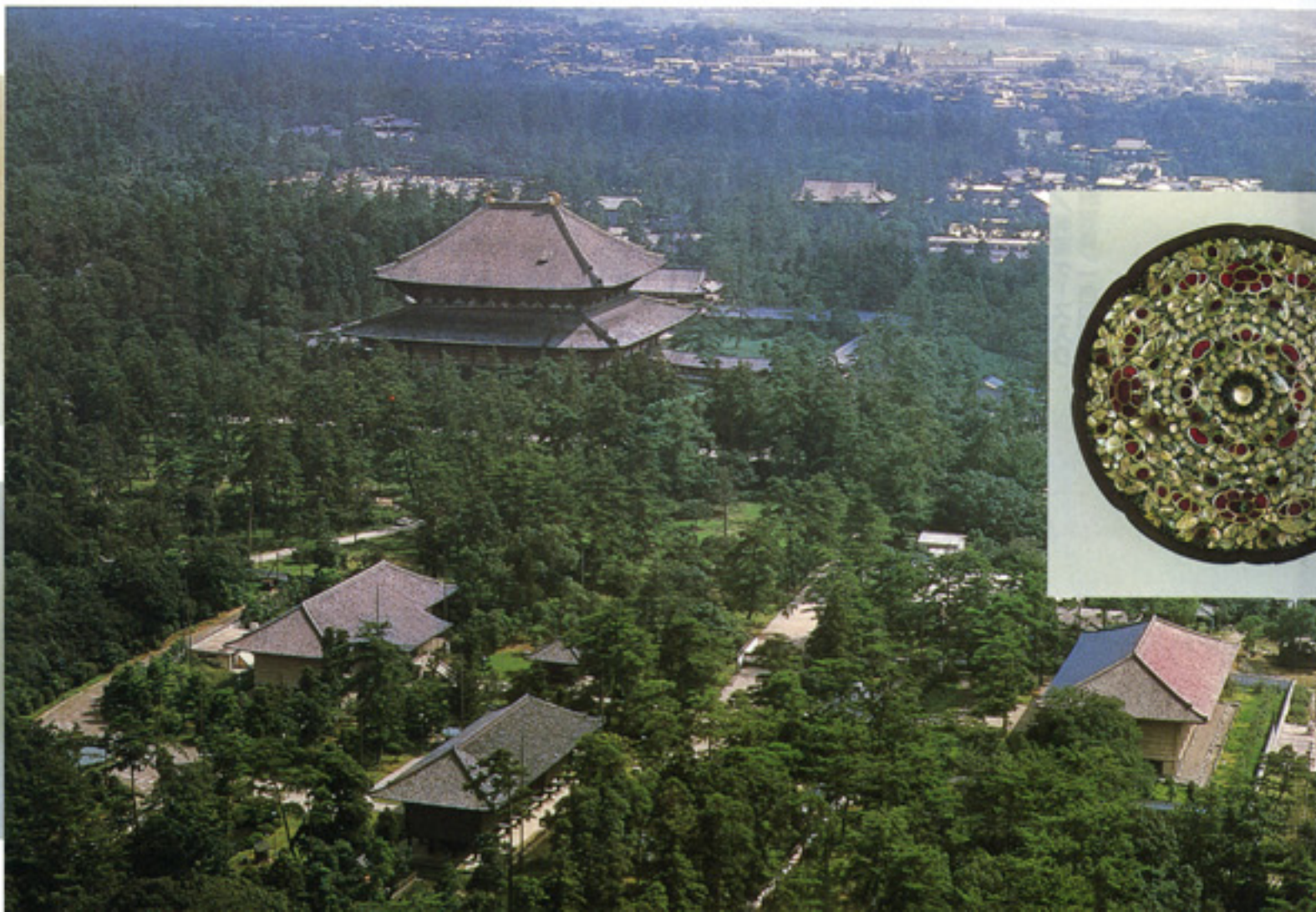
中倉70 瓊瑤杯



中倉146 瑠璃螺鈿八角箱



中倉177 蘇芳地金銀絵花形方几



中倉

CHUSO
武器武具をはじめ、献物几・献物箱・ガラ
スなど広範な内容の宝物を収蔵



中倉8 金銀細工唐大刀 刀身



中倉12 馬鞍



北倉158 天平勝宝八歳六月二十一日献物帳(国家珍宝帳) 巻首部分



北倉42 八角鏡 平鏡銅背



中倉12 馬鞍